



三重県立看護大学  
MIE PREFECTURAL COLLEGE OF NURSING



# MCN REPORT

2024.3 vol.58



## 看護職者のキャリアを考える

### contents

看護職者のキャリアデザイン .....	1
看護研究支援の取り組み .....	3
研究室訪問 .....	4
連携協力協定機関紹介（名張市） .....	5
大学の出来事 .....	6

# 看護職者のキャリアデザイン

## 看護学部におけるキャリアデザイン教育

本学のキャリアデザイン教育は、就労支援ではなく、社会に広く貢献できる「人間性豊かな看護職者」を育成することを主眼としています。看護学部の2年生が履修する科目「キャリアデザイン」では、県内の医療現場において現在活躍されている看護職者の方に自らのキャリアについて話をいただくことによって、大学での学びと看護職者として働くことを直接的に関連付け、学ぶことの意味を再認識するとともに、将来におけるキャリアを検討することの意義を認識することを目的としています。

### 令和5年度「キャリアデザイン」における招聘講師

- **新居 晶恵 氏** 三重県立看護大学 地域交流センター  
(三重大学医学部附属病院から出向・感染管理認定看護師)
- **成田 知世 氏** 三重県医療保健部医療人材課 (保健師)
- **大川 知美 氏** ママサポ出張助産院 Ohana (助産師)
- **松本 亜希 氏** 三重県立看護大学 (保健師：JICA 活動)
- **坂倉 小夜子 氏** 三重県立総合医療センター (看護師：セカンドキャリア)



### 担当教員から 看護管理学 中西 貴美子 教授

本学は看護大学という性質上、看護職の資格取得をめざすことが第一の目的となってしまうがちです。しかし、社会人生活は資格を取り就職してからが長く、そのためには卒業後どのような看護職者を目指すのか、その先のことを考える必要があります。ただ、ロールモデルとなる先輩の実際の話聞くだけでなく、キャリア選択の幅を広げ、またそこから今後の自分のキャリアを具体的にイメージして、現在の学びとつなげてほしいと考えています。

#### 学生の声

- 今までは看護師になることが目標となっていました。そこから先どのような看護師になりたいかまでは具体的に考えたことはありませんでした。今回の授業を聞き、自分のキャリアについてもっと深く考えてみようという気持ちを持つことができました。
- 自分たちが年を取るにつれて少子高齢化が進み、生産人口が減少し、それに伴い看護師の数も減少しますが、看護の対象となる人は増加するため、看護師一人一人の存在が大きくなると感じました。今後、認定看護師などの資格を取って自分の看護を納得いくものにし、長く看護師を続けられるようにしていきたいと感じました。

### 卒業生の進路

本学は、卒業時に全員が看護師と保健師、2つの国家試験受験資格を取得できるほか、選択により助産師課程の科目を履修すると、助産師の国家試験受験資格も取得することができます。毎年、本学を巣立つ多くの卒業生が、看護職者としての進路を選択しています。

卒業年度	看護師	保健師	助産師	進学	その他
令和4年度	76名	11名	10名	0名	3名
令和3年度	71名	14名	10名	2名	2名
令和2年度	77名	12名	6名	3名	1名



# 看護職者のキャリア形成支援

本学は、看護職者の方がさらなるキャリアアップをめざすため、大学院看護学研究科や地域交流センターにおいて、様々な教育の機会を提供しています。

## 大学院看護学研究科

### ▶ 修士論文コース

様々な看護実践の現状と課題を明確にするための理論・研究・実践の諸概念を学び、看護学の発展に寄与する研究能力を身に付けるコースです。臨床現場等で課題を感じ、研究による問題解決をめざす方が多く進学しています。

### ▶ 臨地教育者コース

臨床現場における教育者をめざす方に向けたコースです。看護教育の現状と課題を明確にし、看護専門職や看護学生への適切な指導能力を身に付けることを目的としています。

### ▶ 専門看護師（CNS）コース

本学では、母性看護学、老年看護学及び精神看護学の3つの分野に専門看護師（CNS）を養成するコースを設置しています。臨床現場でスペシャリストとして活躍することをめざす方が進学しています。

### ■ 修了生インタビュー 済生会松阪総合病院 八木 奈津実さん

私は臨床現場においてハイリスク妊産婦の増加を実感する中で、さらに高度な看護を提供し、母子やその家族が少しでも安楽に生活できるようになってほしいという思いがあり大学院 CNS コースへの進学を決めました。大学院では、対象者との関わり一つ一つに根拠があり、その根拠をしっかりと把握することで新たな視点が見出され、新たなケアにつながることを学びました。大学院修了及び母性看護専門看護師を取得し、臨床現場において看護理論や研究論文も吟味して対象に必要なケアを考えること、その際にはチーム力を向上させながら多職種のチームで目標に向かってケアを提供していくこと、また、臨床課題や研究課題を見出し課題解決に向けて行動することを意識して日々の業務に従事しています。



## NEWS ! 学内推薦入試で入学する方の入学金が免除されます

本学大学院では、看護学部4年生からストレートで大学院への進学をめざす方を対象とした学内推薦入試を実施しています。令和6年度に実施する令和7年度入試から、学内推薦入試で入学される方の入学金が免除されることとなりました。

## 認定看護師教育課程

本学の地域交流センターでは、社会情勢やニーズに応じて「感染管理」や「認知症看護」の認定看護師教育課程を開講し、県内外の看護職者の質向上に寄与してきました。現在は、令和4年度から令和6年度までの事業として、三重大学医学部附属病院と共同して「感染管理」（B課程）のコースを開講しています。

### ■ 修了生インタビュー 三重県立看護大学地域交流センター（三重大学医学部附属病院から出向）新居 晶恵さん

私は、平成25年度に本学の感染管理認定看護師養成課程を修了後、9年間、三重大学医学部附属病院の専従感染管理認定看護師として業務に従事し、本年度より本学地域交流センター認定看護師教育課程（B課程）「感染管理」に専任教員として出向させていただいております。

感染対策は医療の根幹をなすものであり、医療従事者、患者を問わず、全員による日々の実践が当然であることから、その継続は難しく、ともすると忘れがちになります。私は、認定看護師の役割である、実践・相談・指導のスキルをフル活用し、院内だけでなく地域においても、皆さまにとって感染対策をより身近にすべく活動を続けており、その経験を本教育課程における後進の育成に役立てたいと考えております。





# 看護研究支援の取り組み

## 臨床現場における看護研究能力向上へ

本学の地域交流センターでは、看護研究支援事業に取り組んでいます。研究の基礎から具体的な方法までを段階的に受講することで、実践につながる知識とスキルを習得できるよう研修を開催しています。

### 看護研究支援

看護研究に取り組んでいる県内医療機関等を対象とし、看護職者の研究意欲を高めるとともに、研究的思考や研究遂行能力を培うことを目的としています。看護研究のプロセスに沿った支援、施設内における研究支援体制構築への支援を行う「施設単位看護研究支援」や看護研究発表会における講評・審査を行う「看護研究発表会支援」を用意しています。令和5年度は看護研究支援に7件、看護研究発表会支援に1件の依頼をいただき、支援を行いました。

### 看護研究 SEED

看護の現場で看護研究に取り組んでいる方、取り組もうとしている方を対象とした看護研究を進めるための基礎的な研修を行っています。日常の看護業務の中から疑問を見出し、看護研究に取り組めるようなプログラム（「看護研究の意義と文献の活用」や「看護研究における倫理的配慮」など研究の基礎知識に関する9つのテーマ）となっています。隔年で集合研修とオンライン研修を開催しており、オンラインで実施した令和5年度は、各テーマ20～26名の看護職者の方に参加いただきました。

### ハウツー看護研究

「看護研究 SEED」やその他同等の看護の基礎研究に関する研修を修了した方を対象とし、看護研究を実際に行うための具体的な研究方法（データ収集、考察に至る一連の過程）を学び、体験することにより看護現場での研究実践が充実することを支援します。令和5年度は質的研究コース（インタビュー）、量的研究コース（アンケート）、量的研究コース（実験・計測）、統計学コース（SPSS）の4コースを用意し、7名の看護職者の方に参加いただきました。



### 看護研究エッセンス

「看護研究 SEED」やその他同等の看護の基礎研究に関する研修を修了した方を対象とし、看護研究を行うための具体的な研究方法を演習により体験し、研究の実践に活かせるよう支援します。令和5年度は統計解析（基本編）、統計解析（応用編）、英語論文の3コースを用意し、3名の看護職者の方に参加いただきました。



### 令和6年度看護研究発表会支援の募集予定

**申込み締切** 令和6年11月29日（金）  
開催希望日の60日前までにお申し込みください。

その他の募集予定につきましては4月以降に決定次第順次ホームページにてお知らせします。





## 看護技術学 菅原 啓太 講師 にインタビュー

看護技術学を専門とし、本学では基礎看護学の科目を担当している菅原啓太講師に、専門の学問分野や現在取り組んでいる研究についてお聞きしました。

### ◎ 看護技術学とはどのような学問ですか。

看護技術（例えば、入浴できない患者さんの体を温かいタオルで拭く、便秘の患者さんの腰を温めるなどの技術）は、先人の臨床での経験や創意工夫から生まれ、伝えられてきたものが多くあります。看護技術学は、それらの技術に効果があるのか、効果があるのであればどのようなメカニズムで効果をもたらすのかを科学的方法に則り検証を行い、看護技術の効果と根拠を明らかにしていく学問です。これらの検証を行っていくことは、看護学の学術の発展に寄与するだけでなく、看護を受ける対象者の生活の質を高めることにもつながります。

### ◎ 現在、どのような研究をされていますか。

私は、手浴（しゅよく）の効果と根拠を明らかにする研究に取り組んでいます。手浴とは、温かいお湯を利用して手を洗う看護技術です。病院でのふとした経験から、現在の研究の着想を得ています。具体的には、食事が低下している患者さんに対して、食前に手を洗う生活習慣の代替として毎日、手浴を行っていたところ、食事が増加し、その後は、受け答えがしっかりしてきたり、自らスプーンを持ち食べようとしたりする様子を目の当たりにしました。この経験から、食前に手浴を行うと「食事が増加するのではないか」という疑問を持つようになりました。すでに手浴には、からだを温める・皮膚を保湿する効果などがあることが分かっています。しかし、私の疑問を解決するような研究は行われていませんでした。そこでまずは、食前の手浴がからだにどのような影響を及ぼすのかを明らかにするため、健康な方を対象とした実験室での基礎研究に取り組みました。その結果、食前の手浴は交感神経（臓器や器官の働きをつかさどる神経）の活動のバランスを整える可能性が示唆されました。皆さんも、とても緊張している時（交感神経の活動が活発な状態）に、食欲がわかなくなったり、食事がおいしく感じられなかったりする経験があるのではないのでしょうか。食前の手浴が、緊張を解きほぐし、食事を食べるためのからだの準備を整えるのではないか、という一つの糸口が見つかりました。

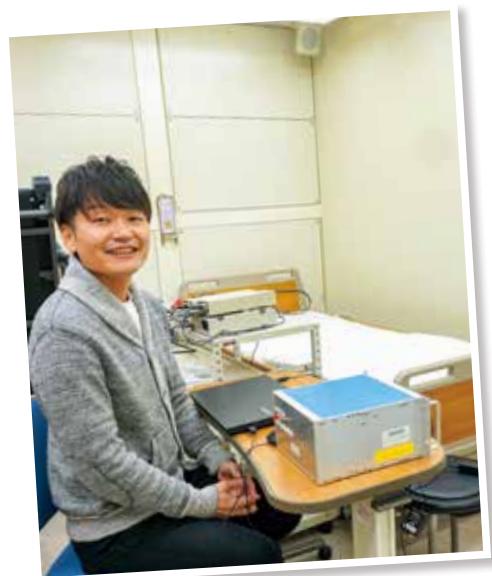
### ◎ 今後の研究の展望をお聞かせください。

基礎研究で得られた成果を実際の看護に活かすことが重要であると考えています。そのため現在は、病院の看護師の方々にご協力いただき、食前の手浴が入院患者さんのところやからだにどのような影響を及ぼすのかを明らかにするための臨床研究に取り組んでいます。食前に手浴を実施すると「あー、気持ちいい」と発言されるだけでなく、笑顔が多く見られるようになったり、「食べようという気持ちになったよ」と発言をされたりする患者さんがいらっしやいます。このことから、食前の手浴は患者さんに気持ちよさをもたらし、食事への意欲を高めるのではないか、という新しい疑問が生まれました。

今後は、交感神経の活動の視点から研究を進めるとともに、気持ちよさや意欲という視点からも、食前の手浴の効果や根拠を明らかにしていきたいと考えています。患者さんが食事をおいしく食べ、からだの回復を促す、その過程をサポートできる新しい看護技術の開発に繋げていきたいと考えています。



▲ 手浴の基礎研究の実際  
(手をお湯に浸けている様子)



▲ 手浴の基礎研究を行った実験室  
(人工気候室)



# 連携協力協定機関紹介

## 名張市

つながり・エンパワーでまちを元気に!

名張市は、昭和 40 年代以降、大規模な宅地開発が進み、市制発足当時 3 万人であった人口は、昭和 56 年度に人口急増率全国 1 位になるなど発展を続け、8 万 5 千人にまで増加しましたが、現在は、減少傾向にあり、令和 6 年 1 月 1 日現在 人口 75,228 人、高齢化率 35.2%の市です。



名張市の保健師は現在 21 名おり、保健分野(母子保健・成人保健)、介護分野(介護予防、認知症予防)、障害・発達分野等の部署に分かれて配属されています。どの分野也多職種と連携しながら業務をすすめており、また専門職だけでなく住民とともに活動を行っております。平成 26 年度より、名張版ネウボラとして妊娠・出産・育児の切れ目ない支援をめざして、時をつなぐ、人と人・人と地域をつなぐ、保健・医療・福祉のしくみをつなぐがかなえられるよう、相談・支援の場、システムを構築しました。そのシステムの中で子育てに関わる人材の育成として、子育て支援員研修を実施しております。子育て支援員研修の講師を三重県立看護大学から派遣していただき、また、人材育成についての評価に関する研究にもご協力をいただいております。令和 2 年度に市町では初めて、地域の保健及び福祉の向上、健康教育及び学習、大学の教育及び研究、社会・地域活動の推進に関する連携協定を締結させていただき、引き続き協働で事業をすすめております。

(福祉子ども部 健康・子ども担当部長 兼 子育て世代包括支援センター長 山崎 美穂)

### 保健師 インタビュー

#### 地域包括支援センター 足立 恵里 さん

私の働く地域包括支援センターでは、高齢者やそのご家族などから生活・医療・福祉・介護など、幅広い相談に応じています。

名張市では保健師の多くが市役所内で勤務しており、困ったり悩んだときに先輩保健師に相談しやすいことや、多職種や他部署とも日頃からコミュニケーションをとっており、連携がスムーズにとれるところがとても魅力だと思います。

また近畿圏と隣接していることから、関西色強めの住民の方々も多く、日々のやりとりの中で笑いを求められることも。笑いのセンスが必要な職場です。(笑)

### 三重県立看護大学地域交流センター 第3回公開講座

2月4日(日)、日本体育大学体育学部体育学科教授の杉田 正明 氏をお招きし、「スポーツ界におけるコーチングについて～ジェンダーを超えて～」をテーマに、公開講座を開催しました。

講演では、スポーツ科学の視点から、コーチング、コンディショニングについてお話いただきました。からだに必要な栄養や休養などを学び、私たちの生活習慣や健康づくりに役立つ、貴重な内容でした。参加者からは、「自分自身にも、指導のうえでも役に立つ内容だった」「スポーツに関係ない者でも、普段の生活に取り入れたいことがいくつもあった」などの感想があり、大好評でした。

今年度は、全3回の公開講座に多くの皆さまにご参加いただきありがとうございました。次年度も開催を予定しておりますので、ぜひご参加ください。





## マヒドン大学とのオンライン交流

11月8日(水)に、第1回「看護×国際交流」イベントを開催し、本学が国際交流協定を締結しているタイ王国マヒドン大学とオンラインで交流を行いました。

当日は、本学学生11名が参加し、自己紹介ゲームや英単語連想ゲームなどのアクティビティを通して交流を深めました。また、互いに大学のカリキュラムや学生生活、文化についてプレゼンテーションを行い、相互理解を深めました。

参加した学生からは、「楽しかった。またマヒドン大生と交流したい」「英語が思うように話せず悔しかったので、また挑戦したい」との声がありました。



## 三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム交流会

12月16日(土)、特別選抜による入学予定者とその保護者の方を対象に、「三重の保健医療を支える未来の看護職者育成プログラム交流会」を開催しました。看護師・保健師・助産師として活躍する卒業生から大学生活や現在の仕事について体験談をお話いただいたほか、県内15の医療機関・行政の方々に入学者との個別相談を行っていただきました。参加者からは、「大学生活のイメージができた」「医療機関の方と直接話すことができ、看護職者をめざす気持ちが強くなった」という声をいただきました。



## 卒業研究発表会・修士論文発表会

### 卒業研究発表会

12月25日(月)、令和5年度卒業研究発表会を開催しました。

卒業研究は、本学4年生が、自身に関心を持つテーマに沿って、研究計画を立案し論文執筆を行います。発表会では、他の4年生や教員、これから希望の研究分野を決める3年生の学生も参加し、熱心に耳を傾けていました。

### 後期修士論文発表会

1月17日(水)、令和5年度後期修士論文発表会を開催しました。

研究発表の成果は、学位授与のための審査過程の一部になります。今年度は、修士論文コースの3名が、それぞれの教育研究領域において取り組んだ研究の成果を発表し、質疑応答に臨みました。



## さらなる発展と人材育成の充実に向けて ～学生支援のための基金への寄付のお願い～

皆さまからあたたかいご寄付を頂戴しましたこと、心より感謝いたします。今後も継続的な学生支援を可能とするため、ご寄付に関し格別のご支援を賜りますよう厚くお願い申し上げます。

### 寄付金受付状況 (R5.4.1～12.31時点)

#### ●「寄付申出書」…11件、384,000円

ご寄付をいただいた翌年の確定申告期間に所轄税務署へ申告いただくことで、個人・法人それぞれにおいて、税制上の優遇を受けることができます。

#### ●「三重県ふるさと応援寄附金(ふるさと納税)」

…9件、146,000円

寄付額のうち2万円を超える部分がワンストップ特例制度利用により、確定申告の手続きを要せず、税制上の優遇を受けることができます。これにより、実質2千円の負担額で三重県立看護大学生をご支援いただけます。



ふるさと納税制度によるご寄付は、上記QRコードからお申込み願います。



本学マスコットキャラクター

「みかんちゃん」

三重県立看護大学の略「三看大(みかんたい)」の「みかん」に学生たちが持つ「優しさ」をイメージした大学キャラクターです。平成21年の法人化を機に学内からの公募で選ばれ活躍しています。

公立大学法人

# 三重県立看護大学

〒514-0116

三重県津市夢が丘1丁目1番地1

TEL 059-233-5600(代)

FAX 059-233-5666

<https://www.mcn.ac.jp/>



UNIVERSITY ACCREDITED 2020.4～2027.3



Accredited 2022.4～2029.3 日本看護学会教育評価機構

本学は、「大学基準協会」の定める大学基準及び「日本看護学会教育評価機構」の看護学教育評価において「適合」の認定を受け、大学及び看護学教育の質について保証されています。



- 地域医療支援病院
- 二次救急指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- 日本医療機能評価認定病院

地域住民の皆さまが、  
安心して健やかに暮らせる地域づくり



三重県厚生農業協同組合連合会

## 鈴鹿中央総合病院

〒513-8630  
三重県鈴鹿市安塚町山之花1275番地の53  
☎059-382-1311 (代)  
[http://www.miekosei.or.jp/2\\_SCH/](http://www.miekosei.or.jp/2_SCH/)



すべての人に  
“寄り添う”ことを  
大切にした看護を提供しています。



## 伊勢赤十字病院

一人ひとりを大切に、  
その人の「よりよく生きる」を  
支える看護を提供します。

伊勢赤十字病院  
三重県伊勢市船江1丁目471番2  
TEL: 0596-28-2171 (代表)  
<https://www.ise.jrc.or.jp/>

看護部の詳細については  
こちらをご覧ください



伊勢赤十字病院 看護師採用サイト  
<https://www.ise-nurse.info/>



永井病院は、三重県SDGs推進パートナーとして登録されています。



## 心に寄り添う医療

地域の中核病院である永井病院の看護師は  
時代の変化に柔軟に対応しながらも、  
一人ひとりの命に向き合うことを大切にしています。



大切な人を守る医療がここにある。

看護師  
募集中



精神科 / 心療内科 / 内科  
外科 / 整形外科 / 皮膚科 / 歯科 / 眼科  
緩和ケア病棟・人工透析・健康診断・認知症疾患医療センター

## 松阪厚生病院

松阪市久保町県道160号線沿い TEL.0598-29-1311 (代)